

科目名	体験演習(小学校) (7月13日) 車谷先生 (1月25日)	単位	面接1単位	配当年次	1年次	授業形態	演習
教科書	なし						
持参物	筆記用具、ノート						
備考							
授業内容	<p>1. 今、学校現場は・・・。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活を振り返る。(ワークシート) ・現在の学校現場の抱える問題点や課題について解説する。 <p>2. 学校の組織について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校がどのような形で運営されているかを解説する。 <p>3. 教員を目指して (ドキュメンタリー映像から学ぶ)</p> <p>4. 教育の新しい動きについて (新学習指導要領がめざすもの)</p>						

科目名	体験演習（療法）（7月27日） 大空先生（2月1日）	単 位	面接1単位	配当 年次	1年次	授業 形態	演習
教科書	なし						
持参物	動きやすい服、靴 ※スカート、ヒールは不可						
備考	参考図書「音楽運動療法入門 野田 燦」工作舎						
授業内容	<p>この授業では、音楽運動療法の一端を実際に体験する。 トランポリンやフィジオボールに乗り、心身がどのように変化するかを体感し音楽運動療法に ついでの理解を深める。</p> <p>また、障害のある状態をああ疑似体験することで支援者として恕のように関わったら良い かを考える。</p> <p>① 音楽運動療法の基本的な考え方 ② トランポリンを使つての療法を体験する ③ フィジオボールを使つて療法を体験する ④ 障害のある子の見え方、聴こえ方を疑似体験する</p>						

科目名	体験演習 (幼稚園) (8月24日) 三原先生 (2月15日)	単 位	面接1単位	配当 年次	1年次	授業 形態	演習
教科書	なし						
持参物	筆記用具						
備考	動きやすい服装						
授業内容	<p>幼稚園は、どんなところ？</p> <p>教育基本法 11条 幼児期の教育 学校教育法 第3章 第22条・23条 法律に位置づけられている。</p> <p>① 遊んでみよう ・模擬保育室で</p> <p>② 思い出してみよう ・幼稚園・保育園での思い出 大好きだった遊び、先生、友達、行事、家族との思い出など</p> <p>③ 幼稚園の写真や映像を見て、子どもの遊びや生活について考えよう (例) ・心や体をよく動かしていると思う場面 ・生活習慣や身につけたいこと、集団生活のきまり など</p> <p>④ 「好きな遊び」と「クラスでの集団の活動」について考えよう ・それぞれの意味、ねらいを考えてみよう ・教師の働きかけ(援助)で大切なことを考えよう</p>						

科目名	音楽Ⅰ	単 位	面接2単位	配当 年次	1年次	授業 形態	講義
教科書	なし（授業内で資料を配布する）						
持参物	・筆記用具						
備 考							
授業内容	<p>教育現場において楽曲を演奏・指導するに当たり、楽譜に関する正しい知識・読解力をつける事は必要不可欠である。楽典の基本やコードネームの初歩を学ぶことにより、音楽的素地を養う事を目的とする。</p> <p>第1回： 譜表と音名 第2回： 拍子 第3回： リズムと言葉 第4回： 音程 第5回： 西洋音楽史（ルネサンスまで） 第6回： 音程 第7回： 調と音階 第8回： 和音・コードネーム 第9回： 和音・コードネーム 第10回： 西洋音楽史（古典派まで） 第11回： 発想記号、楽曲の形式 第12回： 西洋音楽史（ロマン派以降） 第13回： 移調・移旋 第14回： 楽典の復習 第15回： 楽典試験</p> <p>練習問題に取り組みながら楽典を学ぶ。また西洋音楽の歴史を学び、クラシック音楽が時代とともにどのように変化してきたのか、理解を深める。 理論だけではなく、リズム打ちやキーボードを使った実践なども適宜取り入れたい。</p>						

科目名	図画工作 I	単 位	面接 2 単位	配当 年次	1 年次	授業 形態	講義
教科書	幼児造形教育の基礎知識 花篤 實 建帛社						
持参物	クレヨン 水彩用筆 (大) ハサミ カッターナイフ						
備 考	汚れても良い服装・動きやすい服装						
授業内容	<p>1 日目</p> <p>子どもの作品、造形活動をみる視点について 表現の技法研究① (</p> <p>クレヨンの表現 水彩の表現</p> <p>2 日目</p> <p>表現の技法研究② 様々な素材の活用について</p> <p>3 日目</p> <p>技法研究のまとめ ペーパークラフト 作品製作</p>						

科目名	幼児と健康	単位	2 単位	配当 年次	1 年次	授業 形態		講義	
教科書	適宜プリント配布								
持参物	粘土「小麦粉粘土」又は、「樹脂粘土」（12色セットと白色のみのもの 100均で売っています） 弁当箱（子供用の大きさ） 筆記用具								
備考	粘土を使って幼児のお弁当作りをします。								
授業内容	<p>第1回：領域「健康」のねらいと内容 ・本授業ガイダンス ・幼稚園教育要領が示す「健康」について学生たちの問題意識に問いかけながらねらいと内容を理解する</p> <p>第2回：幼児の健康な育ちを支えるために① ・幼児の健康問題とその背景についてテキストや視聴覚教材を用いて理解する</p> <p>第3回：幼児の健康な育ちを支えるために② ・幼児の健康問題とその背景についてテキストや視聴覚教材、グループワークを通して明らかにし、「幼児の育って欲しい姿」を理解する</p> <p>第4回：幼児の運動能力の発達とあそび ・視聴覚教材を活用し人の身体発達・方向性と臨界期を理解した上で、保育現場の遊びについて理解を深める</p> <p>第5回：幼児の心の発達と健康 ・幼児の心理発達を理解した上で、家庭での親子関係の重要性と保育者の役割を理解する</p> <p>第6回：「幼児の健康」における ・生活リズム、睡眠、基本的な生活習慣の獲得と発達について・食育について理解する ・安全教育と安全意識を理解する</p> <p>第7回：幼児の食に関する教材づくり① ・パワーポイントを活用し、幼児にとって必要な食生活を知る ・栄養面における知識を身に付け幼児の食生活の課題を深める</p> <p>第8回：幼児の食に関する教材づくり② ・パワーポイントを活用し、幼児にとって必要な食生活を知る ・栄養面における知識を身に付け幼児の食生活の課題を深める</p> <p>第9回：幼児の食に関する教材づくり③ ・パワーポイントを活用し、幼児にとって必要な食生活を知る ・栄養面における知識を身に付け幼児の食生活の課題を深める</p> <p>第10回：幼児の食に関する保育場面での課題 ・食に関する研究事例</p> <p>第11回：幼児の食に関する教材づくりワーク① 粘土による4歳児のお弁当作り計画書作成 ・4歳児の栄養バランスを考えた献立作成 ・粘土を用いてお弁当の食材を作る</p> <p>第12回：幼児の食に関する教材づくりワーク② 粘土による4歳児のお弁当作り計画書作成 ・4歳児の栄養バランスを考えた献立作成 ・粘土を用いてお弁当の食材を作る</p> <p>第13回：幼児の食に関する教材づくりワーク③ 粘土による4歳児のお弁当作り計画書作成 ・4歳児の栄養バランスを考えた献立作成 ・粘土を用いてお弁当の食材を作る</p> <p>第14回：幼児の食に関する教材づくりワーク④ 粘土による4歳児のお弁当作り計画書作成 ・4歳児の栄養バランスを考えた献立作成 ・粘土を用いてお弁当の食材を作る</p> <p>第15回：まとめ</p>								

科目名	幼児と人間関係	単 位	面接1単位	配当 年次	1年次	授業 形態	講義
教科書	なし						
持参物	筆記用具						
備考							
授業内容	<p>1. オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の目標・内容を知り、受講に関する目的意識を明確にする ・「自分を知る」ところからはじめよう <p>2. 領域「人間関係」に求められること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係をめぐる現代的課題と社会的背景 ・領域「人間関係」が目指すもの <p>3. 領域「人間関係」のねらいと内容について</p> <p>4. 0歳児～3歳未満児の育ちと人との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人との信頼関係を基盤とし、安定感・安心感を得られるような関わりとは <p>5. 3歳児の育ちと人との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立心の芽生えを育み、自己充実して遊べるようになる基礎を築く <p>6. 4歳児の育ちと人との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間との出会いと関わり <p>7. 5歳児の育ちと人との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と生活や遊びをつくる、遊びの中で育つ協同性 <p>8. 小学校教育への接続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学までに育てたい人間関係 ・「幼児期の終わりまでに育ててほしい姿」について <p>9. 幼児の自己主張について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けんかやいざこざ、トラブルを通して成長する幼児 <p>10. 気になる幼児への支援①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育実践より、人との関わりが難しい幼児とは <p>11. 気になる幼児への支援②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人との関わり方が難しい幼児への支援を考える <p>12. 道徳性・規範意識の芽生えについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規範意識を育むとは ・幼児期における道徳性の芽生えを育むために <p>13. 子育ての支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の理解と支援 保育者の役割 <p>14. 教材研究や環境の重要性を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係を育む遊びや教材を研究する <p>15. まとめ</p>						

科目名	幼児と環境	単 位	2 単位	配当 年次	1 年次	授業 形態	講義
教科書	適宜プリント配布						
持参物	色えんぴつ又は、水性マジック（12色以上） 筆記用具						
備考							
授業内容	<p>第1回：領域「環境」ねらいと環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本授業のガイダンス ・幼稚園教育要領が示す「環境」について、学生たちの問題意識に問いかけながらねらいと内容を理解する <p>第2回：ヒトの進化・発達と環境1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒトの主体性を環境との関連から学ぶ ・DVD「なぜ人間になれたか1」視聴する <p>第3回：ヒトの進化・発達と環境2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒトの主体性を環境との関連から学ぶ ・DVD「なぜ人間になれたか4」視聴する <p>第4回：ヒトの進化・発達と環境3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒトの主体性(環境に適応する生きる力)について、先行研究における理論を紹介する ・講義内容の整理と自己分析をノートにまとめる <p>第5回：幼児と「もの」「自然」環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の場として保育環境を考える。環境をねらいとする保育を想定し、時代と「もの」、季節と「もの」保育室、園庭など園内の環境についてDVD「保育内容：環境」を視聴する <p>第6回：領域「環境」のねらいと内容に基づき、保育の構想を深める①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自然」「もの」「数量と文字」「地域と社会」の4つの視点から保育構想を深める ・「すごろく」の保育教材を通して、領域「環境」のねらいを深める ・先行研究を通じた「すごろく」の保育・教育の取り組みを考察する <p>第7回：領域「環境」のねらいと内容に基づき、保育の構想を深める②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「すごろく」製作 <p>第8回：領域「環境」のねらいと内容に基づき、保育の構想を深める③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「すごろく」製作計画書の提出 <p>第9回：領域「環境」にねらいと内容に基づき、保育の構想を深める③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「すごろく」製作計画書の提出 <p>第10回：領域「環境」のねらいと内容に基づき、保育の構想を深める④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「すごろく」製作 <p>第11回：領域「環境」のねらいと内容に基づき、保育の構想を深める⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「すごろく」製作 <p>第12回：領域「環境」の「すごろく」の発表①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報機器、教材を活用して発表する ・相互評価を通して学びを刺激し合い保育者の視点を深める <p>第13回：領域「環境」の「すごろく」の発表②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報機器、教材を活用して発表する ・相互評価を通して学びを刺激し合い保育者の視点を深める <p>第14回：領域「環境」の「すごろく」の発表③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報機器、教材を活用して発表する ・相互評価を通して学びを刺激し合い保育者の視点を深める <p>第15回：本授業のまとめ</p>						

科目名	幼児と言葉	単位	面接1単位	配当年次	1年次	授業形態	講義
教科書	なし						
持参物	筆記用具						
備考							
授業内容	<p>1. オリエンテーション 授業の目標・内容を知り、受講に関する目的意識を明確にする 領域「言葉」に求められること -言葉をめぐる現代的諸課題と社会的背景-</p> <p>2. 領域「言葉」のねらいと内容について</p> <p>3. 言葉の発達過程 ①0歳児～2歳児の言葉と保育者の関わり</p> <p>4. 言葉の発達過程 ②3歳児～5歳児の言葉と保育者の関わり</p> <p>5. 領域「言葉」と小学校教育とのつながり -「話し言葉」と「書き言葉」について-</p> <p>6. 幼児の言葉を育む環境構成と援助 -豊かな言葉を育むための保育環境や保育者の援助について-</p> <p>7. 言葉の育ちに関わる諸問題について -言葉をめぐり、特別な配慮の必要な幼児への指導-</p> <p>8. 豊かな言葉を育む児童文化（手遊び、言葉遊び、歌など）</p> <p>9. 豊かな言葉を育む児童文化（絵本と紙芝居）</p> <p>10. 豊かな言葉を育む児童文化（ペープサート・パネルシアター）</p> <p>11. 伝え合い分かり合う楽しい劇遊び</p> <p>12. 言葉を育む教材研究を行い、教材を作成する①</p> <p>13. 言葉を育む教材研究を行い、教材を作成する②</p> <p>14. 保育教材を使った模擬保育</p> <p>15. まとめ</p>						

科目名	幼児の音楽表現Ⅰ	単 位	2 単位	配当 年次	1 年次	授業 形態	講義
教科書	『乳幼児の音楽表現』赤ちゃん学会 中央法規 『こどものうた 200』小林美実 チャイルド社						
持参物	筆記用具、教科書						
備考	少し身体を動かしますので動きやすい服装・靴で来てください。						
授業内容	<p>○幼児期において育みたい資質・能力について、又表現領域のねらい及び内容について理解する。主体的で対話的・深い学びが実現する課程を踏まえて具体的な保育を考察し、幼児が手段とする様々な表現方法を学ぶ。教材研究をするとともに、幼児について深く理解をするために、赤ちゃんから幼児までの音・音楽との関わりについて学び指導法を見に付ける。併せて保育の評価について学び省察の仕方を理解し指導計画の立て方を学ぶ。 においては特に身体表現と声による表現について学ぶ。</p> <p>第1回：授業の概要。領域「表現」のねらい及び内容について</p> <p>第2回：年齢による表現の変化、声の発達について</p> <p>第3回：わらべうたについて</p> <p>第4回：わらべうたによる大人の関わりとその指導法</p> <p>第5回：友達との関係構築するわらべうたの意義</p> <p>第6回：幼児と歌う意味・意義について考察する</p> <p>第7回：表現する楽しさを味わわせ、表現する意欲を引き出す保育実践を考察する。</p> <p>第8回：幼児の想いやイメージを生かした音楽活動について</p> <p>第9回：領域との関係から季節の歌を歌うことの意味を知る</p> <p>第10回：手遊びの持つ意義について理解し実践する</p> <p>第11回：幼児の特徴でもある身体運動について</p> <p>第12回：ボディパーカッションを体験し、一番身近な楽器としての体と音楽の関わりについて学ぶ</p> <p>第13回：情報機器などの教材を用いた指導法について</p> <p>第14回：情報機器や視聴覚教材を活用し実践する</p> <p>第15回：まとめ 乳幼児の声・歌との関わりについて</p>						

科目名	幼児の造形表現Ⅰ	単位	2単位	配当年次	1年次	授業形態		講義	
教科書									
持参物備考	<p>筆記用具、スケッチブックA4、カッターナイフ、はさみ、のり(でんぶんのり)、えんぴつ(2B) 水彩絵の具セット(12色)、筆大、筆小、筆洗い、パレット、定規(30cm)、水性マーカー(8色・太い方が望ましい)、作品を持ち帰る手提げ袋、エプロン</p>								
授業内容	<p>○絵の具やクレパスなどの画材には、描画以外の様々な可能性がある。それらを体験することで保育造形の広がり理解し習得する。また、造形あそびを体験することで、教材や環境から造形的な遊びを構想し、こどもたちに体験させることが出来るよう、基礎的な知識・技術を習得する。</p> <p>第1回：乳幼児の造形活動について</p> <p>第2回：平面技法の基礎と実践① パスを使って スクラッチ、ステンシル、パチック</p> <p>第3回：平面技法の基礎と実践② 絵の具を使って デカルコマニー、ステンシル</p> <p>第4回：平面技法の基礎と実践③ 絵の具を使って ドリッピング、流し絵、にじみ絵</p> <p>第5回：平面技法の基礎と実践④ 絵の具を使って 糸を使って、ストローを使って</p> <p>第6回：子どもの造形と壁面製作① 技法を生かして壁面製作につなげる</p> <p>第7回：子どもの造形と壁面製作② 装飾を施して完成させる</p> <p>第8回：粘土の造形① 感触教材として体験する</p> <p>第9回：粘土の造形② 造形素材として体験する</p> <p>第10回：粘土の造形③ 立体作品を完成させる</p> <p>第11回：造形あそび—新聞紙で立体を作る</p> <p>第12回：造形あそび—作成した立体で遊んでみる</p> <p>第13回：造形あそび—空間をつくる・ひもを用いて</p> <p>第14回：造形あそび—空間をつくる・新聞紙を用いて</p> <p>第15回：まとめ</p> <p>※試験は実施しない</p>								

科目名	演習1-1 (造形) (6月22日) 本多先生 (11月16日)	単 位	面接1単位	配当 年次	2年次	授業 形態	演習
教科書	なし						
持参物	クレパス、水彩絵の具、筆、画用紙A4 5枚						
備考							
授業内容	<p>この授業では図画工作の様々な表現方法・素材を経験し、造形の楽しさを体験する。また、造形表現の基礎知識と技術も習得する。</p> <p>① ガイダンス (図画工作の授業の題材・教材研究について) ② 教材研究 平面技法演習 (クレパス) ③ 教材研究 平面技法演習 (水彩絵の具) ④ 教材研究 立体技法演習 (粘土)</p>						

科目名	演習 1 - 1 (音楽) (6月28日) 紺谷先生 (11月9日)	単 位	面接 1 単位	配当 年次	2 年次	授業 形態	演習
教科書	なし						
持参物	演奏したい、または今後学びたいピアノ曲がある場合は、楽譜を持参して下さい。						
備 考	本演習は、ピアノ演奏経験の有無は問いません。						
授業内容	<p>「演習 I」においては、担当教員それぞれの専門分野の一端に触れることによって、教育と芸術の両面において段階的に専門性を高めていく。</p> <p>本演習においては、様々な作曲家の音楽に触れながら西洋音楽の歴史を概観し、楽譜の成り立ちや記譜法を学ぶことによりピアノ演奏に必要な読譜力を習得する。また、日本における西洋音楽受容史に触れることによって、唱歌や童謡についても学ぶ。さらに、ピアノの楽器の特性を知る事によって、幼児教育、初等教育における音楽活動に必要なピアノ演奏技能を総合的に向上させる事を目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 西洋音楽の歴史－様々な作曲家の音楽について 2. 読譜力を高める－楽譜の成り立ちや記譜法、作曲家の自筆譜について 3. 日本における西洋音楽－洋楽受容史から唱歌、童謡について 4. 20 世紀～現在に活躍しているピアニスト達の演奏に触れる－CD、DVD 鑑賞 5. ピアノの楽器の特性を学ぶ－ピアノ演奏技能を高める 6. まとめ－ピアノ演奏技能の総合的な向上 						

科目名	演習1-1(教育)(6月29日) 鳥海先生 (11月30日)	単 位	面接1単位	配当 年次	2年次	授業 形態	演習
教科書	特にありません						
持参物	授業内容に関する文献や新聞記事などの資料がありましたら持参してください。						
備 考							
授業内容	<p>1. 小学生が抱える問題 学級崩壊・いじめ問題・不登校問題について考える</p> <p>2. 保育園・幼稚園・小学校のなめらかな繋がり 小1プログラムについて考える</p> <p>3. 教育とは何か、教育の基礎・基本 子どもの理解の基本について考える</p> <p>4. 生徒指導(生活指導)と教育相談 小学校における生徒指導について</p> <p>5. 学校と保護者・地域との連携の在り方 虐待について考える</p>						

科目名	演習 1 - 2 (心理療法) (7月13日) 横田先生 (1月11日)	単 位	面接 1 単位	配当 年次	2 年次	授業 形態	演習
教科書	なし						
持参物	筆記用具						
備 考							
授業内容	<p>○スクーリングでは、「心理療法」について学びます。</p> <p>子どもと保護者への心理的介入を行うために、遊戯・行動療法の基礎を学びます。</p> <p>※スクーリングの授業内容については、受講者の人数により変更することがありますのでご了承ください。</p>						

科目名	演習1－2(絵画造形療法)(7月26日) 中谷先生 (2月7日)	単 位	面接 1単位	配当 年次	2年次	授業 形態	演習
教科書	なし						
持参物	筆記用具・スケッチブック「マルマンスケッチブック A4 (287×202 mm) 24枚 S131」						
備考	実際の医療の現場における臨床として絵画療法演習を行います。						
授業内容	<p>○実際における絵画療法について</p> <p>○絵画療法の基本的前提としていえる心構え</p> <p>○絵画療法において向き合う様々なケース</p> <p>○絵画療法における具体的に必要なこと</p> <p>○絵画療法のシステム、プロセス</p> <p>○教材研究</p> <p>※授業の内容は、予定であり変更する場合があります。ご了承ください。</p>						

科目名	演習1-2 (音楽療法) (9月7日) 大空先生 (2月22日)	単 位	面接1単位	配当 年次	2年次	授業 形態	演習
教科書	なし						
持参物	動きやすい服装・靴 (スカート・ヒール不可) ピアノを弾ける人は何の曲でも良いので弾ける曲の楽譜を持参する						
備考	参考と図書「音楽運動療法入門 野田 燎」工作舎						
授業内容	<p>体験演習では、受療者として音楽運動療法を体験した。</p> <p>この授業では、療法者として音楽運動療法を行う。</p> <p>療法における歌唱、ピアノ演奏、受療者との関わり方、療法プログラムの作り方を学ぶ。</p> <p>① 音楽運動療法の実際をDVDで観る</p> <p>② 療法者、支援者としてどのように受療者と関わったら良いかを考える。</p> <p>③ 療法プログラムを作成する。</p>						

科目名	音楽科指導法Ⅰ（初等）	単 位	面接2単位	配当 年次	2年次	授業 形態	講義
教科書	教員養成課程「小学校音楽科教育法」有本真紀他（教育芸術社）						
持参物	テキスト、リコーダー（ソプラノ）、鍵盤ハーモニカ（大学は全音ピアノ使用）、可能であれば小学校音楽の教科書1冊						
備 考	<p>リコーダー、鍵盤ハーモニカは大学にもありますが、口をつけるので、吹き口（全音）は各自で用意してくるのが望ましいです。模擬授業を行うので、1～6年の教科書の内、1学年分のみ（出版社は問わない）各自購入しておくことがのぞましいです。模擬授業することを念頭に見ておいてください。</p> <p>スクーリング時に、各自1曲、歌唱共通教材を伴奏していただきますので、テキストを参考にどれか1曲を練習しておいてください。（簡易伴奏可）</p>						
授業内容	<p>小学校教育の基本として、「生きる力」や、三つの視点などを理解したうえで、音楽科教育の意義と目標を理解する。表現領域である、歌唱・器楽・音楽づくり、鑑賞領域と共通事項を理解し、教授するための基本的音楽知識について理解するとともに、反復や問いと答えなどの音楽の仕組みについても理解する。鑑賞教材や、歌唱共通教材についても理解を深め、感じ取ったことを言語化する方法についても考察し、指導法を学ぶ。授業を行う際の、教材研究についても深め、授業計画を作成し、模擬授業を行いながら実践力を身に付ける。授業における評価の観点についても理解する。</p> <p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 小学校音楽科の目標・指導内容について学ぶ 2) 歌唱共通教材の研究 3) 器楽の指導法を学ぶ 4) 音楽づくりについて理解を深める 5) 鑑賞教材の研究 6) 指導案作成法を知り、模擬授業を行う 						

科目名	図画工作科指導法Ⅰ	単 位	面接2単位	配当 年次	2年次	授業 形態	講義
教科書	新学習指導要領にもとづく楽しいアート 昭和堂 車谷哲明・井関和代 編著 小学校学習指導要領「図画工作」編						
持参物	教科書、はさみ・カッターナイフ・スティックのり・水彩絵の具・パス・パレット・筆 水入れ・筆記用具・ノート・ティッシュペーパー・汚れても良い服装（エプロン可）						
授業概要	<p>子どもの発達段階にともなう表現の傾向を学習し、造形表現(幼稚園)・図画工作科(小学校)に必要な基礎知識や技能を学習する。また、新学習指導要領に基づく学習指導計画や指導案の作成を通して、具体的な指導法を身につけていく。彩画材料の特性や版による表現について実技を通して学びを深めていく。</p>						
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの成長と表現の傾向 (表現の足あとを考える) 2. 造形あそびについて (理解と実技を学ぶ) 3. パス・水絵の具の基本的な技法について学ぶ (モダンテクニック表を作ります。) (パス) バチック・塗り広げ・塗り狭め・スクラッチ・フロッタージュ等 (水絵の具) スタンピング・にじみ・ドリッピング・スパッタリング・マーブリング 4. 幼児の造形あそび <ul style="list-style-type: none"> ・スチレンを使った遊び ・絵の具あそび ・教材研究 						

科目名	体育科指導法	単位	面接2単位	配当年次	2年次	授業形態	演習
教科書	「こころとからだをつなぐ運動遊び ～体育科指導法～」 山田美紀子 谷玲子（ふくろう出版）						
持参物	教科書 ※最新版(表紙がオレンジ)を購入してください。 <u>教科書が古い版(表紙が水色)の場合は、スクーリングを受講できませんのでお気を付けてください。</u>						
備考	Zoom 授業で行います。 動きやすい服装で受講をお願いします。						
授業内容	<p>1、子どもの体力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの体力・運動能力の低下 ・スキャモンの発達発育曲線・教員の指導力 ・実技「ラジオ体操」 ・実技「楽しいリズム体操」♪動物のヨガ体操 <p>2、学習指導要領</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育成すべき資質能力の3つの柱 ・教科のねらい・領域構成と学習内容・体育科の目標 ・健全育成のための活動プログラムと運動遊び <p>3、学習評価の意義とねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画と授業時数 ・主体的対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ・評価の観点・単元計画の見直しと改善点 ・授業風景の閲覧 <p>4、小学校の体育の授業①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導と学習評価 ・教材研究 ・小学校体育授業の実際「からだほぐし運動」「体づくり運動」 ・振り返りとまとめ <p>5、小学校の体育の授業②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な動きをつくる運動遊び・器械運動 ・陸上運動・水泳 ・実技「楽しいリズム体操」♪ひまわりサンバ♪アヒルのダンス <p>6、小学校の体育の授業③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボール運動・表現運動 ・サーキット遊びの組み立て <p>7、学習指導案①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元計画・単元目標・教材観・児童の実態・評価規準・学習指導の工夫 ・本時の指導展開例 <p>8、学習指導案②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導案を書いてみよう ・振り返りとまとめ 						

科目名	国語科指導法Ⅰ(初等)	単 位	通信1単位 面接1単位	配当 年次	2年次	授業 形態	講義
教科書	「白石範孝の国語授業の教科書」(東洋館出版社) 「小学校学習指導要領解説国語編」最新版						
持参物	・筆記用具 ・教科書						
備 考							
授業内容	○国語科学習指導要領の内容と指導上の留意点について学びます。 ○授業技術として重要な発問・板書・筆順や字形について確認します。 ○言葉の決まりや記号の読み方や役割などを再確認します。 ○物語文や説明文などの読解教材について指導方法を学びます。 ○低・中・高学年による教材の違いや特性、指導法について学びます。						

科目名	保育内容指導法総論 保育内容指導Ⅰ・保育内容指導法	単 位	通信 2 単位 面接 2 単位	配当 年次	2 年次	授業 形態	講義
教科書	「保育内容総論」(光生館)						
持参物	<p>テキスト、幼稚園教育要領解説(文部科学省) 新聞紙 5 枚程度・ハサミ・のり 八つ切り色画用紙セット・色紙セット・両面テープ・セロテープ・割り箸(8 本) クレパス・マジック 夏期受講者(どんぐり転がし迷路作成用) 空き箱、他作成に必要と考える材料 3 日目のみ: 上靴と戸外用運動靴</p>						
備考	なし						
授業内容	<p>【1 日目～2 日目】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の基本原理 2. 現代社会における保育 3. 保育の実践とこども理解 4. こどもと保育の観察 5. 環境による保育 6. 遊びと保育 7. 発達に即した保育計画 8. まとめ <p>【3 日目】 幼稚園現場で直接こどもの様子や教師の援助、環境などについて学び、保育を考える。</p>						

科目名	保育内容（人間関係）	単 位	面接 1 単位	配当 年次	2 年次	授業 形態	講義
教科書	幼稚園教育要領解説 平成 30 年 3 月（文部科学省）						
持参物	教科書						
備考	講義科目ですが教室で動ける程度の実技を行いますので、動きやすい服装・靴で受講してください。						
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境を通して行う教育とは <ol style="list-style-type: none"> (1)環境を通して行う教育とは (2)領域「人間関係」について 2. 保育者との信頼関係 <ol style="list-style-type: none"> (1)信頼関係を育む保育者の基本姿勢 (2)子どもの行動を見守りながら適切な援助を行う (3)子ども同士の関係へ 3. 集団の中で安定するために <ol style="list-style-type: none"> (1)人間関係の広がり 4. 道徳性の芽生え <ol style="list-style-type: none"> (1)規範意識の芽生えを培う (2)自分の気持ちを調整する力を育てる 5. トラブルを通して育つもの <ol style="list-style-type: none"> (1)トラブルに保育者はどうかかわっていくか 6. 協同性を育む保育を展開するために <ol style="list-style-type: none"> (1)協同する経験を重ねる 7. 事例を通し人とのかかわりを考える 8. 教育課程・年間指導計画・週案・日案について <p>※実技について なかよし遊び、歌遊びなどはその都度指導します。</p>						

科目名	保育内容（表現）	単 位	面接1単位	配当 年次	3年次	授業 形態	講義
教科書	事例で学ぶ保育内容（領域）表現						
持参物	教科書						
備考	あらかじめテキストは目を通しておいください						
授業内容	<p>子どもは生まれてすぐから泣くという形で感情を表出する。しかし幼児になり、周りの人や友達との関係を築きながら、自己主張し感情を表出することから、周りと協調性を持ちつつ、言葉や音、身体運動や絵画などを媒介として「表現」として表すようになる。そのため保育者は子どもの身体的・精神的及び人間関係の築き方などの特徴を知りつつ、感性を高めなくてはならない。幼稚園教育要領に即して「表現」領域を考察しつつ、幼児の表現について学び、幼児が表現するよう導くべき保育力を身に付けるよう演習を持つことが大切である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 領域「表現」の目標、内容について理解する 2 音楽表現の方法について、また素材である音について学ぶ 3 音聴取、音感受について学ぶ 4 身体表現による表現活動について学ぶ 5 言葉による表現活動における教授法を学ぶ 6 身近な音による表現活動、器楽について学ぶ 7 指導案の仕組みと理解と作成 8 模擬保育の実施と考察 						

科目名	芸術表現演習Ⅰ（造形）	単位	面接1単位	配当年次	2年次	授業形態	演習
教科書	新学習指導要領にもとづく楽しいアート						
持参物	教科書、古タオル・エプロン・軍手もしくはゴム手袋・鉛筆・パス・スティック糊 絵の具セット（絵の具・筆・筆洗・パレット）カッターナイフ 作品持ち帰り用袋等						
備考	画材などは必要に応じて学内のマツダ画材で購入してもらいます。						
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「紙」を使った造形活動 <ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙 ・段ボール ・切り絵 2. 「自然木」を使った造形活動 <ul style="list-style-type: none"> ・かなづちと釘 ・接合の工夫 ・思ったものを作ろう 3. 「絵の具とパスを使った造形活動」 <ul style="list-style-type: none"> ・絵の具遊び ・パスの活用 ・スチレンであそぶ 						

科目名	芸術表現演習Ⅱ(音楽)身体表現Ⅰ(身体表現Ⅰ-1)	単 位	面接2単位	配当 年次	2年次	授業 形態	講義
教科書	なし						
持参物	動きやすい服装と靴						
備考							
授業内容	<p>1. 発声練習、話し方練習、歌唱練習、振り付け練習等を通して表現のいろいろを体験する。 使用する教材は配布し各自で製本。(15分程度の製本講習で完成) それぞれのタイトルやキーワードの紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腹式呼吸 ・滑舌の練習 ・1分間スピーチ ・日本語の特徴 ・数字で会話 ・自己紹介と他己紹介 ・ドレミパイプ ・ハンドベル ・譜読みとプロンプの練習 ・歌詞に合わせた振り付け ・リズムに合わせた動作やステップ <p>2. コミュニケーションゲームを体験し、相手に伝える表現を学ぶ。 それぞれのタイトルやキーワードの紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名前ゲーム ・アイコンタクト ・ボール投げ ・架空ボール投げ ・彫刻レッスン ・フォーカスゲーム ・ステイタス ・倒れかけレッスン ・鏡レッスン ・アイマスク <p>3. 歌舞伎、文楽、落語など日本の舞台作品の鑑賞、オペラ、バレエ、ミュージカル等の舞台作品の鑑賞を通して、表現の様々を知る。</p>						

科目名	芸術表現演習Ⅲ(身体)身体表現Ⅰ(身体表現Ⅰ-2)	単 位	面接2単位	配当 年次	2年次	授業 形態	演習
教科書	なし						
持参物	A4資料を配布するため、ファイルを用意すること。						
備考	授業には動きやすい服装で出席すること。						
授 業 内 容	<p>動くことを通して、子どもの発達を支援する身体表現やダンスの基礎的理論や健康な心身を育む意義を学ぶ。</p> <p>幼稚園・保育所・小学校などの教育現場における指導・支援にあたり、必要な理論や実技を学習する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ストレッチ/リズムについて 2. 身体運動の必要性/日本伝承の遊び 3. 世界伝承・日本伝承の踊り 4. 資料(文章・イラスト)からの振りおこし 5. 空間について 6. 身体運動における応急処置 7. 運動会のダンス体験(資料からの振りおこし) 8. 舞踊の概要/リズムダンス 9. 運動会のダンス創作① 10. 運動会のダンス創作② 11. イメージについて 12. 子ども向けのダンス体験 13. 身体運動における動機づけ・あがり 14. 指導練習(映像からの振りおこし) 15. 子ども向けのダンス創作 						

科目名	ピアノ1-1	単 位	面接1単位	配当 年次	2年次	授業 形態	演習
教科書	バイエル教則本/ブルクミュラー25の練習曲/ソナチネアルバム1・2等（各自のレベルにあった物） こどものうた100（著）小林美実（出）チャイルド本社（編）/ 小学校教諭のための歌唱共通教材ピアノ伴奏集（出）学研（編曲）大海由佳/古谷和子/長谷川恭子 （各自書店にて購入）						
持参物	教科書、筆記用具						
備考	受講についてはピアノ1-1 → ピアノ1-2の順番で受講するのが望ましい。						
授業内容	<p>次の(A)、(B)の楽曲について、個人レッスンを行い、最終試験ではその成果を発表する(受講までにしっかり学習して準備しておくこと)。</p> <p>※ピアノ未経験者であっても受講は可能とする。その場合には必ず、ト音記号、ヘ音記号を読める様に事前準備を行っておくこと。</p> <p>(A)子どもの歌(弾き歌い)を2曲 教科書「こどものうた100」または「小学校教諭のための歌唱共通教材ピアノ伴奏集」の中から選択すること。なお、楽譜の難易度については、各自で自分に見合ったものを選ぶこと。</p> <p>※ピアノ未経験者は、添付ファイル「チューリップ」「きらきら星」「かえるの合唱」の中から2曲選択し、音名(ドレミ)を読み、歌えるようにしておくこと。ピアノ1-1では右手と歌のみの弾き歌いでも可とする。</p> <p>(B)各自が選択したピアノ曲を1曲(バイエル59番までの場合は2曲) ただし、クラシックジャンルのピアノ曲とし、全演奏時間は5分以内で完結する曲とする。 また次の楽曲を除く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイエル No.41,42,43,44,63,68,69,70,71,86,87,各調の音階 ・簡易楽譜によるもの ・ツェルニー練習曲 <p>※ピアノ未経験者はバイエル No.3~6、8の音名(ドレミ)をあらかじめ読んでおくこと。 授業内で適宜、進めていき、No.8を試験曲の候補とする。</p> <p>【試験曲:子どもの歌(弾き歌い)1曲・ピアノ曲1曲】 ※試験曲は暗譜を必要としない。</p> <p>☆成績については、受講時の取り組む姿勢、上達度、授業内実技試験の結果などによって総合的に評価する。</p>						

科目名	ピアノ1-2	単 位	面接1単位	配当 年次	2年次	授業 形態	演習
教科書	バイエル教則本/ブルクミュラー25の練習曲/ソナチネアルバム1・2等（各自のレベルにあった物） こどものうた100（著）小林美実（出）チャイルド本社 編／ 小学校教諭のための歌唱共通教材ピアノ伴奏集（出）学研（編曲）大海由佳／古谷和子／長谷川恭子（各自書店にて購入）						
持参物	教科書、筆記用具						
備考	受講についてはピアノ1-1 → ピアノ1-2の順番で受講するのが望ましい。						
授業内容	<p>次の(A)、(B)の楽曲について、個人レッスンをを行い、最終試験ではその成果を発表する（受講までにしっかり学習して準備しておくこと）。</p> <p>※ピアノ未経験者であっても受講は可能とする。その場合には必ず、ト音記号、ヘ音記号を読む様に事前準備を行っておくこと。</p> <p>※ピアノ1-1受講済みの場合、ピアノ1-1とは異なる曲を選ぶこと。</p> <p>(A) 子どもの歌（弾き歌い）を2曲 教科書「こどものうた100」または「小学校教諭のための歌唱共通教材ピアノ伴奏集」の中から選択すること。なお、楽譜の難易度については、各自で自分に見合ったものを選ぶこと。 ※ピアノ未経験者は、添付ファイル「チューリップ」「きらきら星」「かえるの合唱」の中から2曲選択し、音名（ドレミ）を読み、歌えるようにしておくこと。</p> <p>(B) 各自が選択したピアノ曲を1曲（バイエル59番までの場合は2曲） ただし、クラシックジャンルのピアノ曲とし、全演奏時間は5分以内で完結する曲とする。 また次の楽曲を除く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイエル No. 41, 42, 43, 44, 63, 68, 69, 70, 71, 86, 87, 各調の音階 ・簡易楽譜によるもの ・ツェルニー練習曲 <p>※ピアノ未経験者はバイエル No. 3～6、8の音名（ドレミ）をあらかじめ読んでおくこと。 授業内で適宜、進めていき、No. 8を試験曲の候補とする。</p> <p>【試験曲：子どもの歌（弾き歌い）1曲・ピアノ曲1曲】</p> <p>※試験曲は暗譜を必要としない。</p> <p>※弾き歌いに関してはピアノ1-2では両手伴奏が望ましいが、未経験者の場合にはその限りではない。</p> <p>☆成績については、受講時の取り組む姿勢、上達度、授業内実技試験の結果などによって総合的に評価する。</p>						

(ピアノ | で使用楽譜)

重音 (C: ドソ、G: シソ)

Chord progression: C G C

1 5 1 5 1 5

かえるの合唱

岡本 敏明 作詞 / 外国曲

自由な速さで

mf C 1 2 3 4 C G C 3 2 1 C 1 2 3 4 C G C 3 2 1

か える の う た が き こ え て く る よ

1 5 1 5 1 5 1 5

C 1 C G C

クワッ クワッ クワッ クワッ ケロ ケロ ケロ ケロ 知ッ 知ッ 知ッ

前奏

きらきら星

武鹿 悦子 訳詞 / フランス民謡

1 4 5 4 4 3

きらきら ひかる おそらの

5 1

Detailed description: This system contains the first three measures of the song. The treble clef staff has a 4/4 time signature. Fingerings are indicated by numbers 1-5 above the notes. The lyrics are written below the notes. The bass clef staff has a 5 below the first measure and a 1 below the third measure.

2 1 5

ほしよ まばたき しては

1 5 1

Detailed description: This system contains the next three measures. Fingerings are indicated by numbers 2, 1, and 5 above the notes. The lyrics are written below the notes. The bass clef staff has a 1 below the first measure, a 5 below the second measure, and a 1 below the third measure.

5 1 4

みんなを みてる きらきら

1

Detailed description: This system contains the next three measures. Fingerings are indicated by numbers 5, 1, and 4 above the notes. The lyrics are written below the notes. The bass clef staff has a 1 below the first measure.

5 4 4 2 1

ひかる おそらの ほしよ

5 1 1 5

Detailed description: This system contains the final three measures. Fingerings are indicated by numbers 5, 4, 4, 2, and 1 above the notes. The lyrics are written below the notes. The bass clef staff has a 5 below the first measure, a 1 below the second measure, a 1 below the third measure, and a 5 below the fourth measure.

前奏

チューリップ

近藤宮子 作詞 / 井上武士 作曲

1 2 3 5 3 2 1

さいた さいた チューリップの はなが

5 1

Detailed description: This system contains the first four measures of the song. The treble clef staff has a 2/4 time signature. Fingerings are indicated above the notes: 1, 2, 3 for the first measure; 5, 3, 2, 1 for the second measure. The lyrics are 'さいた さいた チューリップの はなが'. The bass clef staff has a 5 in the first measure and a 1 in the second measure.

1

ならんだ ならんだ あかしろ きいろ

Detailed description: This system contains the next four measures. The treble clef staff has a 1 above the first measure. The lyrics are 'ならんだ ならんだ あかしろ きいろ'. The bass clef staff has a 1 above the first measure.

4 2 4 5 4 2 3 2 1

どのはな みても きれいだ な

Detailed description: This system contains the final four measures. The treble clef staff has fingerings 4, 2, 4, 5, 4, 2, 3, 2, 1 above the notes. The lyrics are 'どのはな みても きれいだ な'. The bass clef staff has a 4 above the first measure and a 1 above the second measure.

前奏

科目名	絵本の表現	単 位	通信 2 単位 面接 2 単位	配当 年次	2 年次	授業 形態	演習
教科書	「楽しくはじめる絵本づくり 絵本をつくりたい！」成美堂出版編集部編（成美堂出版）						
持参物	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提出課題（第1課題・第2課題） ・ B5 サイズコピー用紙 最低 8 枚（ラフ用ですので多めにご用意ください。） ・ 筆記用具（鉛筆 2H/HB/B・消しゴム） ・ カッターナイフ ・ 色鉛筆（最低 黄・赤・青・黒の 4 色があること） ・ スティック糊 ・ 文章を保存するための USB 						
授業内容	<p>○1 日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1課題・第2課題のチェック 見直し ブラッシュアップ ・ 参考絵本で、絵本の各部名称・テーマの確認します。 主人公のキャラクターの観察と画材研究 ※多くの絵本を見ていただきます。 <p>○2 日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 日目にブラッシュアップした絵コンテ（サムネール）をもとに B6 サイズ保存のラフを作成 ・ 文章の活字化（教室にあるコンピュータを使用）USB に保存そして出力 ・ 出力した文字をラフに貼りつけます。 ・ 朗読して絵と文字のバランスを確認（必要であれば手直し） ・ 2 枚ずつコピーを取る。 <p>○3 日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コピーに取ったラフの一組を糊付けして製本します。 ・ もう一組のラフは、色鉛筆で着色して、全体の色を把握する。 ・ 最後は糊付けして冊子になったものをプレゼンテーションします。 <p>※人によってスピードはまちまちです。 個人個人に合わせたスケジュールで進めていきます。</p>						

科目名	絵本の読み聞かせ	単 位	面接1単位	配当 年次	2年次	授業 形態	演習
教科書	なし						
持参物	好きな絵本を1冊持参してきてください。						
備 考	動きやすい服装で来てください。						
授業内容	<p>第一回 絵本とは 持参した絵本についての紹介をし合い、絵本の定義、絵本というメディアの特徴について講義します。</p> <p>第二回 絵本を選ぶ 絵本の選び方の観点について具体的な絵本を示しながら講義し、実際の絵本を例に選び方についての実践を行います。</p> <p>第三回 絵本を選ぶ 図書館で2日目に発表する絵本を選び、ワークシートに記入します。</p> <p>第四回 絵本をよむ 絵本の読み方を学び、練習します。</p> <p>第五回 物語体験ワークショップ 絵本を使った遊びを体験します。</p> <p>第六回 絵本の歴史を知る 日本および世界の絵本の歴史を学びます。</p> <p>第七回 さまざまなジャンルの絵本を楽しむ さまざまなジャンルの絵本について学びます。</p> <p>第八回 発表 練習した絵本の発表を行います。</p>						

科目名	演習 II-1 (鳥海先生)	単 位	面接 1 単位	配当 年次	3 年次	授業 形態	演習
教科書	特にありません。						
持参物	授業内容に関する文献や新聞記事などの資料がありましたら持参してください。						
備 考							
授業内容	<p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 演習 II の進め方：卒業研究に向けて 2. テーマの選択・決定について 1 3. テーマの選択・決定について 2 4. 先行研究の調査 1：検索技術の向上 5. 先行研究の調査 2：検索の実際 6. 先行研究の調査 3：検索技術の向上 7. 文献の読解 1：文章の構造 8. 文献の読解 2：主張・結論の抽出 9. 文献の読解 3：読解結果の発表 10. 資料の整理 1：統計処理の基礎 11. 資料の整理 2：変量の統計 12. 資料の整理 3：検定 13. 文章作成 1：論文の構成 14. 文章作成 2：論理的な文章 15. 文章作成 3：論述の練習 						

科目名	演習Ⅱ-2（鳥海先生）	単 位	面接1単位	配当 年次	3年次	授業 形態	演習
教科書	特にありません。						
持参物	授業内容に関する文献や新聞記事などの資料がありましたら持参してください。						
備 考							
授業内容	<p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テーマの設定 2. 調査・資料収集の基本 3. 調査の準備1：調査の方法について学ぶ 4. 調査の準備2：質問項目・選択肢等の作成 5. 調査の準備3：質問項目・選択肢等の作成 6. 調査の準備4：質問項目・選択肢等の作成 7. 調査の実施1：質問用紙の作成 8. 調査の実施2：質問用紙の編集 9. 結果の分析1：データ分析の実際 10. 結果の分析2：データ分析の実際 11. 結果の分析3：分析結果の表現 12. 結果の分析4：分析結果の発表と議論 13. 卒業論文概要の作成1 14. 卒業論文概要の作成2 15. 卒業論文概要の発表と提出 						

科目名	社会科指導法	単 位	通信1単位 面接1単位	配当 年次	3年次	授業 形態		講義	
教科書	小学校学習指導要領解説社会科編 初等社会科教育研究 山口幸男・山本友和 編著（学芸図書）※ ※1年次配当「社会」履修時に事務室から配布								
持参物	ノート、筆記用具、「小学校学習指導要領 社会編」「初等社会科教育研究」								
備考	小学校社会科が担っている教育目標についての理解を深めること。また、社会科の授業づくりにとって、教員自身が「社会」に、また「社会科の授業づくり」に興味関心を深めること、そして、文化も含めた「様々な社会事象」に対して自らの認識を深めていくことが大切である。授業者としては、学生が「社会科」が好きになるような講義内容を目指したい。								
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1年次に使用した教科書「初等社会科教育研究」を使って、社会科の歴史、社旗化の目標、社会科の内容について復讐する。特に、社会科の存立基盤と目標について学ぶ。 2. 「日本の国のかたち」について考える。教育基本法の前文の中に「民主的で文化的な国家をさらに発展させる」の文言がある。歴史は、先人からの文化の受け取りと、次への伝播に他ならないと言える。私たちの国がどんな文化を積み上げてきたのかを考える。 3. 授業づくりについて考える（1） 社会科とつながりが深い1, 2年生の生活科、3～6年生の「総合的な学習の時間」について、授業記録をもとにして、「授業のねらい」について学ぶ。 4. 授業分析を行う。 中学年の授業記録を見、授業づくりにおいて大切にされなければならないことは何かについて協議し、学び合う。 5. 授業づくりについて考える（2） 3, 4年生の社会科の授業づくりについて学ぶ。小学3, 4年生の社会科の教科書を参考にし、単元のねらい、教材の工夫の仕方、発問について考察する。 6. 授業づくりについて考える（3） 小学校5, 6年生の社会科教科書を参考に、指導案の作成（目標・教材観・本時の目標・授業展開）について学ぶ。 7. レポート課題について、解説・説明を行う。 テーマ1からテーマ6までを説明する中で、質疑・応答を行う。その過程で、原稿の教科書を参照しながら、自らのレポート課題の作成に向けて、準備を行う。 8. まとめとテスト 二日間の講義の中から、関連する問題3問を出す。自らの考えをまとめる形で答案を作成する 								

科目名	算数科指導法	単位	1 単位	配当 年次	3 年次	授業 形態		講義	
教科書	「図解見るだけでポイント早わかり算数授業研究」高橋朋彦 著（明治図書）								
持参物	・上記の教科書 ・筆記用具								
備考	小学校の教育現場を想定した算数の授業が行えるよう、実践的な授業力を養う。 到達目標：算数科の目標や系統性等を踏まえて授業を構想し、学習展開を具体化できる。								
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「どのようなねらいで、何を学ぶのか」 <ul style="list-style-type: none"> ・算数科の目標、及び各領域における学年別学習内容の系統性を捉える。 2. 「どのように授業を組み立てて、どの形態で学ぶのか」 <ul style="list-style-type: none"> ・授業の基本的な流れを明確にし、各々のポイントを押さえる ・一斉、個別、ペア、グループの活動を組み合わせる 3. 「黒板やノート類をどう位置づけて活用するか」 <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な板書構成とノート指導のあり方 ・学習の定着のステップ、家庭学習との関連づけ 4. 「教科書を主たる教材として、どのように活用するのか」 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書を用いた基本的な指導法を実演しながら身につける 5. 「自作教材や ICT の活用方法を探る」 <ul style="list-style-type: none"> ・視覚的な表出、操作的活動、個別最適と協働的な学び、双方向機能 ・様々な事例をもとに指導法をアレンジ 6. 「デジタル教科書やプログラミング学習を演習する」 <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンや端末機器の操作演習 7. 「単元の指導計画と学習指導案を作成する」 <ul style="list-style-type: none"> ・主体的、対話的で深い学びを促す授業の設計 8. まとめ <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りと成果報告 								

科目名	理科指導法	単 位	通信1単位 面接1単位	配当 年次	3年次	授業 形態	講義
教科書	「小学校学習指導要領解説 理科編」(文部科学省)						
持参物	・筆記用具 ・教科書						
備考							
授業内容	<p>1～7：通信 8～15：面接</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活科との関連を考えながら、学習指導要領をもとに小学校理科の目標を理解する 2. 第3学年の目標及び内容について 3. 第4学年の目標及び内容について 4. 第5学年の目標及び内容について 5. 第6学年の目標及び内容について 6. 指導内容の取扱いについての配慮事項について 7. 事故防止、薬品などの管理について 8. 指導計画の作成上の配慮事項及び理科学習指導案について 9. 観察・実験等における指導上の留意点について(実験器具の管理・取り扱い) 10. 観察・実験等における指導上の留意点について(理科授業中の事故について、安全管理) 11. 観察・実験等における指導上の留意点について(実験用薬品の管理・取り扱い) 12. 観察・実験等における指導上の留意点について(電気実験の留意点と電流計等測定器具の取り扱い) 13. 観察・実験等における指導上の留意点について(顕微鏡、ルーペなどの取り扱い) 14. 観察・実験等における指導上の留意点について(校庭の利用と自然観察の指導上の留意点) 15. 模擬授業及び理科授業の改善、教材研究について 						

科目名	生活科指導法	単 位	通信1単位 面接1単位	配当 年次	3年次	授業 形態	講義
教科書	「小学校学習指導要領解説 生活科編」(文部科学省) 「わくわくせいかつ上」(啓林館) 「いきいきせいかつ下」(啓林館)						
持参物	・筆記用具 ・「小学校学習指導要領解説 生活科編」 「わくわくしかつ上」「いきいきせいかつした」						
備考							
授業内容	(1) DVDにて生活科の授業実践を視聴します。 学生と共に授業分析を行い生活科のねらいは何か、何を目標とするべきかを 論議します。 (2) 植物・動物の成長を観察します。 自然や命を見つめることと生活科の意義について考えます。 (3) 数珠玉を使った工作をします。 ネイチャークラフトを通して、子ども達に自然に親しむことのすばらしさを 感じてもらう方法について、思案を巡らせます。 (4) 生活科と3年生からの理科との関係について考察します。 (5) 生活科と3年生からの社会との関係について考察します。 (6) 1、2年生を通じての生活科の目標とカリキュラムについてグループ協議を行います。 (7) 教科書、学習指要領を検討し指導案を作成します。 (8) 学生による模擬授業を行います。						

科目名	保育内容（言葉）	単 位	面接1単位	配当 年次	3年次	授業 形態	講義
教科書	「新時代の保育双書 保育内容ことば 第3版」成田 敏男編（株）みらい						
持参物	・筆記用具 ・好きな絵本（1～2冊） ・色鉛筆もしくはクレパス ・教科書						
備考							
授業内容	<p>本授業は、子どもがどのようにことばを発達させるのか、それを支えるものはなにかなど、乳幼児期における言語発達について学ぶことから始まる。</p> <p>特に、ことばを話す前の前言語期から子どもがどのような能力を発達させるかを理解し、早期からの保育者の対応の大切さを考える。</p> <p>そして、その基本的な知識を実際の子どもの言動の解釈に用いながら、その場でどのような応答的かわりやことばかけがことばを育てることにつながるかについて、子どもの年齢や状況に合わせて考える機会を提供する。また、絵本を中心としたことばを育てる文化財や、発達年齢に沿った絵本の選択、読み聞かせの方法についても学ぶ。</p> <p>さらに、ことばの遅れや言語発達障害の事例から子どもの特性を理解し、保育現場で保育者が支援として何ができるかについても学ぶ。</p> <p>受講者が持参した絵本もしくは本学科にある絵本を使って簡単な描画や発表を行う実践も含まれている。</p>						

科目名	保育内容（表現）	単 位	面接1単位	配当 年次	3年次	授業 形態	講義
教科書	事例で学ぶ保育内容（領域）表現						
持参物	教科書						
備考	あらかじめテキストは目を通しておいてください						
授業内容	<p>子どもは生まれてすぐから泣くという形で感情を表出する。しかし幼児になり、周りの人や友達との関係を築きながら、自己主張し感情を表出することから、周りとの協調性を持ちつつ、言葉や音、身体運動や絵画などを媒介として「表現」として表すようになる。そのため保育者は子どもの身体的・精神的及び人間関係の築き方などの特徴を知りつつ、感性を高めなくてはならない。幼稚園教育要領に即して「表現」領域を考察しつつ、幼児の表現について学び、幼児が表現するよう導くべき保育力を身に付けるよう演習を持つことが大切である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 領域「表現」の目標、内容について理解する 2 音楽表現の方法について、また素材である音について学ぶ 3 音聴取、音感受について学ぶ 4 身体表現による表現活動について学ぶ 5 言葉による表現活動における教授法を学ぶ 6 身近な音による表現活動、器楽について学ぶ 7 指導案の仕組みと理解と作成 8 模擬保育の実施と考察 						

科目名	こどもふれあい体験実習	単 位	面接1単位 通信1単位	配当 年次	3年次	授業 形態	実習
教科書	無し						
持参物	筆記用具						
備 考							
授業内容	<p>幼児との関わりを通して幼児理解を行い、担任の指導を観察することから保育者の援助、保育準備などがどのように行われているかなどを具体的・実践的に学ぶ。</p> <p>実習内容や状況などを報告し合い、幼児理解や保育者の援助などについて理解を深め、担当教員から事後指導を受ける。自身の今後の取り組みや目指すものを具体化していけるようにする。</p>						

科目名	幼児理解の理論と方法（幼児）	単 位	通信1単位 面接1単位	配当 年次	3年次	授業 形態	講義
教科書	「幼児理解と保育援助」（ミネルヴァ書房）※スクーリング時は持参不要						
持参物	・筆記用具 ・ノート						
備考							
授業内容	<p>1. 子どもの視座にたつ 幼児理解ということか、どのような視点で理解するのか さまざまなエピソードから読み解く。</p> <p>2. 発達の視点で子どもを理解する 幼児理解のために不可欠な発達の視点について理解を深める。</p> <p>3. 発達をつまづきや偏り 平均と個人差の理解、可能な支援について考える。</p> <p>4. 子どもと遊び 遊びを通じた支援と援助の方法について学ぶ。</p> <p>5. 環境としての保育者 保育のための自己理解。</p> <p>6. 理解者としての保育者 子どもと保育者の相互作用と援助。</p> <p>7. 支援の実際 具体的なエピソードをもとに支援についての考察を深める。</p> <p>8. まとめの課題 まとめと単位認定課題。</p>						

科目名	家庭科指導法	単 位	通信1単位 面接1単位	配当 年次	3年次	授業 形態	講義
教科書	テキスト「改訂 小学校の教師をめざす人のための「小学校家庭科」指導テキスト」(開隆堂)						
持参物	テキスト、上履き(調理室使用時は土足厳禁のため必ず用意すること できるだけ上履き(体育館シューズ等)が望ましいが用意できない場合はスリッパでも可)、エプロン、三角巾(バンダナ) ※頭部を覆うために使用、手拭用タオル						
備考	調理実習をするので、爪を切りネイルもとってきてください。 食物アレルギーがある場合は事前に申し出ること。						
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校指導要領に示された家庭科の目標及び内容構成 ○学習内容の指導上の留意点 ○学習指導案の書き方 ○思考ツールを活用した模擬授業の立案、実施。 「身近な物の遊び方・買い方」 ○情報機器及び教材の活用を図る授業の立案 「手縫いの指導」 ○アクティブラーニングによる調理の指導計画立案 「米飯とみそ汁」 ○米飯とみそ汁及びそれに合うおかずの調理方法 ○手縫いの学習指導教材の作成とその活用の仕方についての交流。 						

科目名	英語科指導法 外国語活動に関する指導法	単位	通信1単位 面接1単位	配当 年次	3年次	授業 形態	講義
教科書	「Let' Try (1) と (2)」(文部科学省) 小学校学習指導要領 (英語)						
持参物	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記用具 (色鉛筆・のり・はさみが必要な時間があります。) ・教科書 ・配布プリントをプリントファイリングできるもの。 						
備考	前半は講義形式です。後半はできる範囲でレポート作成や実際についての取り組みを行います。 積極的に授業に参加してください。						
授業内容	<p>○ガイダンス：授業の進め方の説明 小学校英語教育導入の経緯と現状の把握をする</p> <p>○小学校外国語活動「実際に行われている授業」 小学校外国語活動「実態と問題点」 DVD を見たりしながら同時に授業の流れを記録する方法を学ぶ。 小学校外国語活動まとめのレポート作成 【評価】授業内レポート</p> <p>○自己紹介スピーチ準備と発表 (カードを使って) 【評価】スピーチとカード</p> <p>○楽しいゲームの実践： ITC を活用して英語ゲームを体験しクイズなどを作ってみるワークショップ</p> <p>○フォニックスについて： フォニックスとは、実際どのようなものかを体験し、授業への生かし方を考える 文字の導入と読み書きの指導の実際</p> <p>○コミュニケーション育成のための工夫： ペアワークやグループワークを生かすコミュニケーション活動の方法を学ぶ</p> <p>○チームティーチングについて学ぶ： DVD などを見て実際のチームティーチングの様子を知る。また、チームティーチングの教材について研究。</p> <p>○年間計画について 「Let' Try」の内容紹介と教材を使つての授業研究・年間計画など作成</p> <p>○授業の指導案作成のための準備・計画→作成 模擬授業野実習 (時間があれば) 【評価】レポート</p> <p>○まとめ 課題提出につて</p>						

科目名	教育とICT活用の理解と方法	単位	2単位	配当年次	3年次	授業形態	演習
教科書	小学校学習指導要領（最新版）文部科学省 小学校学習指導要領解説（最新版）文部科学省						
持参物	筆記用具・教科書						
備考	※授業中プリント配布						
授業内容	<p>○これからの学校教育において、個別最適で協働適な学びによる指導や児童の情報活用能力の育成、校務の情報化に情報通信技術を効果的に活用する事は、教員の必要かつ重要な資質能力となる。そこで、本科目では、その意義や活用方法を将来の教育現場で積極的に生かせるよう学んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用事例をもとに、その方法や機能を応用して他の学習においても活用を想定する。 ・端末機器や自作のデジタル教材を活用して、個別、協働的な学習を模擬授業で展開する。 ・情報モラルや情報活用能力育成の視点を持ち、児童が機器操作できる指導方法を身に付ける。 <p>第1回：主体的・対話的で深い学びの授業展開におけるICT活用の意義※双方向ツール(主な演習機能)</p> <p>第2回：教科指導(国語・外国語)におけるICTの活用例と応用 ※文字&音声の入出力</p> <p>第3回：教科指導(社会・生活)におけるICTの活用例と応用 ※デジタルカメラ撮影</p> <p>第4回：教科指導(算数・体育)におけるICTの活用例と応用 ※録画&再生</p> <p>第5回：教科指導(理科・家庭)におけるICTの活用例と応用 ※Web&デジタル資料</p> <p>第6回：教科指導(音楽・図画)におけるICTの活用例と応用 ※表現&鑑賞ツール</p> <p>第7回：道徳・総合、教科横断的な指導におけるICT活用事例と応用 ※プレゼン&思考ツール</p> <p>第8回：電子教科書の活用法と特別な支援を要する児童への配慮 ※電子教科書の各種機能</p> <p>第9回：遠隔・オンライン教育の意義とその運用 ※Zoom、双方向通信ツール</p> <p>第10回：プログラミングの指導法①(総合・クラブ活動) ※Scratchによる創作</p> <p>第11回：プログラミングの指導法②(算数・理科) ※同上による図形描画、センサー実験</p> <p>第12回：教育データの活用と校務の情報化 ※総合型校務支援システム</p> <p>第13回：情報モラル教育と教育情報セキュリティ、および外部連携の在り方</p> <p>第14回：ICT機器と自作デジタル教材を利用した模擬授業①</p> <p>第15回：ICT機器と自作デジタル教材を利用した模擬授業②</p>						

科目名	心理療法演習-1 心理療法演習-2	単 位	面接2単位	配当 年次	3年次	授業 形態	演習
教科書	なし						
持参物	・筆記用具						
授業内 容	<p>① 全ての心理療法の基盤、カウンセリングの原点であるカール・ロジャーズの来談者中心療法について、講義と実習（カウンセラー役や相談者役をそれぞれ演じるロールプレイ等）で理解を深め、日常の実践に少しでも活かせるように、いわゆる傾聴技法を身につける練習を行いたい。</p> <p>② 加えて、心理療法実践の前提ともなる、心理アセスメントについても学習（できれば実際に体験）したい。具体的には、描画法によるパーソナリティテストや認知特性を把握する検査、職業適性検査など、受講生の希望も考慮しながら、体験的に知ってもらいたい機会も設けたい。</p> <p>③ それぞれの参加者の持っている問題意識についても議論する機会も作りたい。</p> <p>④ 直接心理療法場面を見学等することはできないが、現場での実際の話や、相談支援現場の見学（心理療法を行っているところではないが、若者サポートステーションなど）も、可能な限り取り入れることも検討したい。</p>						

科目名	絵画・造形療法演習-1 絵画・造形療法演習-2	単 位	面接2単位	配当 年次	3年次	授業 形態	演習
教科書	なし						
持参物	筆記用具、スケッチブック（マルマンスケッチブック A4 24枚 S131）						
備考	個人と集団の絵画療法演習を行います。						
授業内容	<p>○絵画療法とは何か</p> <p>○絵画・造形がなぜ必要なのか</p> <p>○絵画療法のシステム、プロセス</p> <p>○絵画療法と美術教育</p> <p>○絵画療法とレクリエーション</p> <p>○素材研究</p> <p>※授業はあくまでも予定であり変更する場合がありますのでご了承ください。</p>						

科目名	音楽療法演習-1 音楽療法演習-2	単 位	面接2単位	配当 年次	3年次	授業 形態	演習
教科書	配布した「音楽運動療法論」のテキスト（コピー）						
持参物	・筆記用具 ・動きやすい服装 ・配布した「音楽運動療法論」のテキスト（コピー）						
備考							
授業内容	<p>○音楽運動療法の実践を学ぶ</p> <p>・様々な障がい児のケースについて療法の進め方や展開の仕方を学ぶ。 (学外授業)</p> <p>・石切生喜病院において障がい者や意識障がい者への臨床療法に参加しその展開を体験する。 (学外授業)</p> <p>※実践現場への見学は通信教育ならではの授業となっている。</p> <p>テキストや画像、映像では学べない実践力が身に付くと考える。</p>						

ここから保育士課程科目

保育士課程を履修するには資格履修届の申請と履修費 80,000 円が別途必要です。

科目名	子ども家庭支援論	単 位	面接1単位	配当 年次	1年次	授業 形態	演習
教科書	『最新 保育士養成講座 第10巻 子ども家庭支援』『最新 保育士養成講座』総括編纂委員会 編 (全国社会福祉協議会)						
持参物	特になし。						
備考	これまでに自分が体験した現実やそこから導き出された所見・所感、主体的な考察に基づく独創的な見解等、臆することなく積極的に授業内で紹介して下さい。						
授業内容	<p>授業内容の中核として、次の項目を含みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子ども家庭支援の意義と必要性 ○子ども家庭支援の目的と機能 ○保育の専門性を生かした子ども子ども家庭支援とその意義 ○子どもの育ちの喜びの共有 ○保護者および地域が有する子育てを自ら実践する力の支持 ○保育士に求められる基本的態度 ○家族の状況に応じた支援 ○子育て家庭の福祉を図るための社会資源 ○子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進 ○子ども家庭支援の内容と対象 ○保育所等を利用する子育て家庭への支援 ○地域の子育て家庭への支援 ○要保護児童およびその家庭に対する支援 ○制度・行政上の仕組みにおける課題 ○子育て・育ちに対する社会の意識 						

科目名	社会的養護 I	単 位	通信 1 単位 面接 1 単位	配当 年次	1 年次	授業 形態	講義
教科書	新 保育士養成講座 第 5 巻 社会的養護と障害児保育 『最新 保育士養成講座』総括編纂委員会 編 (全国社会福祉協議会)						
持参物	上記テキストおよび筆記用具						
授業内容	<p>授業内容の中核として、次の項目を含みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現代社会における社会的養護の意義とその理念の理解 ○児童家庭福祉としての社会的養護の理解 ○社会的養護における児童の権利擁護および自立支援についての理解 ○社会的養護の制度と法体系に関する理解 ○社会的養護の仕組みと実施体系に関する理解 ○社会的養護としての施設養護と家庭的養護についての理解 ○社会的養護に関わる専門職についての理解 ○施設養護の基本原則についての理解 ○施設養護のプロセスの理解 ○施設養護で用いられるソーシャルワークの理解 ○施設養護で用いられるソーシャルワークについての理解 ○社会的養護に関わる施設等の運営管理をめぐる現実と課題の理解 ○社会的養護に関する倫理の確立についての理解 ○被措置児童に対する虐待等社会的養護をめぐる諸問題の理解 ○社会的養護と地域福祉に関する理解 						

科目名	子どもの理解と援助	単 位	面接1単位	配当 年次	1年次	授業 形態	演習
教科書	参考文献、教材等を適宜指示						
持参物	筆記用具						
備 考							
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 子どもの理解(意義と子どもとのかかわり) 3. 子どもの理解する視点(生活と遊び) 4. 子どもの理解する視点(保育者と子どもの発達) 5. 子どもを理解する視点(集団における育ち) 6. 子どもを理解する方法 7. 発達の連続性と就学への支援 8. 学修の確認(試験) 						

科目名	子どもの保健	単 位	面接1単位	配当 年次	1年次	授業 形態		講義	
教科書	授業で現場で役に立つ！ 子どもの保健テキスト 小林美由紀編著 診断と治療社								
持参物	教科書、ノート、筆記用具								
備 考									
授業内容	<p>対面での座学の授業形態をとる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの健康と保健について、様々な統計から子どもの置かれている現状について学ぶ 2. 子どもの身体的成長発達とその評価、また、生理的機能の発達について学ぶ 3. 子どもの健康状態の観察ポイントから子どもの示す異常の早期発見とその対応について学ぶ 4. 子どもの病気、特に感染症について、保育所保育指針の感染症マニュアルに沿って学ぶ 5. 5での学びから予防接種について接種時期や種類など感染症予防について学ぶ 6. 子どもの病気、特にアレルギー疾患について仕組みや様々な引き起こされる疾患について学ぶ 7. 入所前健康診断から入所後の保護者との情報共有について学ぶ 8. 妊娠期からの地域における行政の取り組みについて学ぶ 								

科目名	子どもの食と栄養	単 位	面接1単位	配当 年次	1年次	授業 形態	演習
教科書	「発育期の子どもの食生活と栄養」学研書院						
持参物	教科書、ノート、筆記用具、電卓						
備考	レポート課題、授業態度等						
授業内容	<p><1日目>…食べることは、生命の維持や「心」と「体」の健やかな育ちに欠かせません。適切な栄養に関する知識に加え、子どもの食生活の現状と課題を踏まえたうえで、こどもの発育・発達に合わせた段階別の望ましい食生活と栄養について学びます。</p> <p>① 子どもの健康と食生活の意義 ② 栄養に関する基礎知識 ③ 乳汁期・離乳期の食生活と栄養 ④ 幼児期の食生活と栄養</p> <p><2日目>…保育士が大きくかかわる乳児期の食事について、調乳や離乳食の試食を通じて、食べる能力の獲得を体感します。また、「食を営む力」の基礎を培うための「食育」についても学びます。</p> <p>⑤ 調乳実習・離乳食の試食 ⑥ 食育について ⑦ 特別な配慮を要す子どもの食と栄養 ⑧ まとめ・レポート課題</p>						

科目名	社会的養護Ⅱ	単 位	面接1単位	配当 年次	1年次	授業 形態	演習
教科書	特に定めず、適宜参考文献の紹介やプリントの配布を行っていきたい。						
持参物	特になし。						
備考	授業内で自らの思いや考えを求められた際は、臆せずそれらを論理的に述べてほしい。						
授業内容	<p>授業内容の中核として、次の項目を含みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会的養護における子どもの理解 ○社会的養護の内容としての日常生活支援 ○社会的養護の内容としての治療的支援の実際 ○社会的養護の内容としての自立支援の実際 ○施設養護の生活特性とその実際 ○家庭養護の生活特性とその実際 ○個別支援計画の作成に向けたアセスメント ○個別支援計画作成の実際 ○記録および自己評価 ○保育の専門性に関わる知識・技術とその実践 ○社会的養護に関わる相談援助の知識・技術 ○社会的養護に関わる相談援助の実践 ○社会的養護における家庭支援 ○社会的養護の諸課題 ○今後の社会的養護に関する展望 						

科目名	子育て支援	単 位	面接1単位	配当 年次	1年次	授業 形態	演習
教科書	特に定めず、必要に応じて適宜参考文献を提示する。						
持参物	筆記用具						
備考	<p>保護者に対する相談支援・子育て支援について、その具体的な展開の方法をソーシャルワークで用いられる相談援助技術をもとに学んでいく。そして、そこでは対象とする保護者それぞれの状況に適切に対応するための相談を受ける専門職としてふさわしい価値やコミュニケーション方法アセスメントの視点等を習得できるよう心がけ、ますます高まる子育て支援に対するニーズに対応し得る力量の獲得を目指す。</p>						
授業内容	<p>授業内容の中核として、次の項目を含みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保護者に対する保育相談支援・子育て支援の意義と役割 ○相談支援・子育て支援の具体的な展開方法としてのソーシャルワーク ○相談援助の意義と機能 ○相談援助の理論と方法 ○相談援助の記述・アプローチとその具体的展開 ○支援の実際を理解するための事例検討 ○社会資源の活用と関係期間及び専門職との連携・協働 ○保育の特性と保育士の専門性をいかした支援の概要 						

科目名	乳児保育 I	単 位	面接 1 単位	配当 年次	2 年次	授業 形態	演習
教科書	乳児の生活と保育（第 3 版） ななみ書房 松本園子編著						
持参物	教科書・保育所保育指針・乳児向け絵本						
備 考							
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 乳児保育の概要 2. 乳児保育の 1 日 3. 基本的な生活習慣の獲得と保育 1 4. 基本的な生活習慣の獲得と保育 2 5. 乳児の発達と保育内容 I 6. 乳児の発達と保育内容 2 7. 乳児保育の現状と課題 8. 学修の確認・試験 						

科目名	乳児保育Ⅱ	単位	面接1単位	配当年次	2年次	授業形態	演習
教科書	乳児の生活と保育（第3版） ななみ書房 松本園子編著						
持参物	教科書・保育所保育指針・乳児向け絵本1冊・裁縫道具・靴下ハイソックス）1足 ※靴下人形をつくります						
備考							
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 乳児期の子どもの理解 2. 乳児保育における子どものための記録 3. 乳児の保育 4. 対人関係の発達と保育1 5. 対人関係の発達と保育2 6. 手作り保育教材の作成 7. 乳児保育における保育指導計画 8. 学修の確認・試験 						

科目名	子どもの健康と安全	単位	1 単位	配当年次	2 年次	授業形態	演習
教科書	現場で役立つ！子どもの健康と安全演習ノート 小林美由紀編著 診断と治療社						
持参物	タオル、コップ（陶器でないもの）、スプーン、お茶						
備考	食物アレルギー（卵・牛乳など）がある場合は授業開始前に申し出てください。						
授業内容	<p><1日目>…子どものからだについて理解し、実際に赤ちゃん人形を使って体験学習をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 乳児の成長発達について、粗大運動・微細運動について月齢での変化を理解する。 ② 子どもの成長発達について、客観的に理解するために行う身体測定についてその意味を理解し、実際に測定してみる。 ③ 子ども、特に乳幼児に対する養護（抱っこの仕方、ミルクの飲ませ方、排気の仕方など）についてその意味を学び、実際に赤ちゃんの人形を使用し体験する。 ④ 子どもの示す様々な症状について、子どもの身体的精神的特徴を踏まえ、子どもの表現方法を考えながら、その対応方法を学ぶ。 <p><2日目>…子どもの病気について理解を深め、実践で生かすことができるようにする。また、より具体的な実践体験を通して、子どもの気持ちを体感する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 子どもの感染症について、子どもの命を守るために保育士ができることを学ぶ。 ② 様々な感染症から子どもを守る予防接種について理解する。 ③ 1日目に学んだ養護から沐浴とおむつ交換について赤ちゃん人形を用いて体験し学ぶ。 ④ 子どもの食事介助で起こる様々な事故をふまえて、実際に大人が食べさせられる側になって子どもへの食事介助を考える。 ⑤ 子どもの事故実態を踏まえて、事故防止について考える 						

科目名	保育実習指導 I	単 位	面接 2 単位	配当 年次	2 年次	授業 形態	演習
教科書	特に使用しません。授業中にプリントを配付します。						
持参物	筆記用具 絵本（乳児向けと幼児向け各 1 冊ずつ） 季節のうた等の楽譜 模擬保育で使用する準備物（最終日）						
備 考	実習に備えて絵本の読み聞かせの練習、弾き歌いの準備をしておいてください。						
授業内容	<p>授業のねらい</p> <p>保育実習の意義・目的を明確なものとした上で、実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について、具体的で応用可能な形での理解を図ることを目指します。</p> <p>授業の計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育実習の意義 2. 実習の準備 3. 保育施設の理解～保育所実習 4. 保育施設の理解～施設実習 5. 子どもの観察の注意点/保育所の一日 6. 実習記録の意味 7. 実習記録の書き方（1） 8. 実習記録の書き方（2） 9. 絵本の読み聞かせ 10. 子どもとの関わりを考える 11. 指導計画案のねらいと目標 12. 指導計画案の内容の考え方 13. 指導計画案の立案 14. 模擬保育 15. 実習に向けて課題設定 <p>評価方法</p> <p>受講態度や授業への参加姿勢・意欲、提出物、実技（指導案の作成・実演）等を総合的に評価します。</p>						

科目名	障害児保育 I	単位	1 単位	配当 年次	3 年次	授業 形態	演習
教科書	参考資料等の配付プリント						
持参物	筆記用具						
備考							
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の理念。保育士や教員になるために障害児保育や特別支援教育を学ぶことについて。 ・障害とは：「障害があるとはどういうことか」について、WHO の障がいの考え方や環境的な要因を考えた場合の「障がい」について ・歴史の中での障がい児者はどのように生きてきたか、社会の構造の中でどのような位置づけにあったかを学ぶ。 ・文化社会の中で活躍する障がい者について、具体的な例について学ぶ。特に多様な能力を発揮している人々が多くいることを知る。 ・様々な障がいについて 1) 視覚障がい、聴覚障がいについて具体的にどのような状態かを理解し、指導方法について学ぶ ・様々な障がいについて 2) 知的障がい、肢体不自由、病弱について具体的にどのような状態かを理解し、指導方法について学ぶ ・障がい保育、教育の特化した領域（自立活動）について学ぶ ・合理的配慮について（障がい者の権利に関する条約批准以後の社会）、具体的な事例を通して理解する。インクルーシブ教育システムの構築、合理的配慮、基礎的環境調整について、それぞれどのように関連しているか学ぶ。 ・まとめ 						

科目名	障害児保育Ⅱ	単位	1単位	配当年次	3年次	授業形態	演習
教科書	参考資料等の配付プリント						
持参物	筆記用具						
備考							
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいについて、義務教育段階でどの程度支援を要する子どもたちが存在しているか知る。 ・自閉症スペクトラム障害(ASD)・広汎性発達障害(PDD)・社会的コミュニケーション障害(SCD)などの認知的特性と基本的対応や支援の在り方について学ぶ ・注意欠陥多動性障害(ADHD)の理解と指導・支援 ADHDの三つの特性に基づく行動特徴について理解し、注意・叱責を控えるなどの基本的な心構えを学ぶ。 ・学習障害の理解と指導・支援:SLDの定義に含まれる音声言語(聞く・話す)や書字言語(読む・書く)の問題を実例を通じて理解し、配慮にとどまらず子どもの何を伸ばすのか指導・支援法のポイントを学ぶ。 ・保護者、専門機関、地域との連携による支援、保護者との丁寧な情報交換、校内での協力体制の構築。専門家との連携、コーディネータがそれらの中心的な役割を担うことなどを学ぶ。 個別の支援計画、連携の在り方について学ぶ。 ・障害児保育の現状と今後の課題について学ぶ。特に、就学前に子どもの状況を把握することと、就学後につなげていくことの重要性を理解する ・発達検査について、その支援、教育での活用について学ぶ ・まとめ 						

科目名	保育実践演習Ⅰ	単位	1単位	配当年次	3年次	授業形態	演習
教科書	特に定めず、必要に応じて参考文献等を紹介すると共に、参考資料を提示・配布する。						
持参物	保育実習時の実習記録および筆記用具						
備考	この授業は、これまでの保育士課程での学びの総決算として位置づけられるものであり、保育実習を含め、これまでの保育士養成課程全体を通して、保育士として必要な専門的知識や技術、幅広く深い教養、的確な判断力、専門職としての倫理観等が身についたか、これまでを振り返り検証する。						
授業内容	<p>授業内容の中核として、以下の各項目を含みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保育士（養成）課程での学び・気づきの再確認 ○保育実習Ⅰ（保育所実習）の意義と目的についての再考 ○保育実習Ⅰ（施設実習）の意義と目的についての再考 ○保育実習Ⅱあるいは保育実習Ⅲの意義と目的についての再考 ○保育実習Ⅰ（保育所実習）のふりかえり ○保育実習Ⅰ（施設実習）のふりかえり ○保育実習Ⅱあるいは保育実習Ⅲのふりかえり ○保育実習で得た知見と生じた疑問に関するディスカッション ○保育に関わる諸技術の向上に向けた働きかけ ○社会福祉従事者としての保育士という観点の獲得 ○改めて「子ども」について考える ○「現代と保育」をテーマにしたディスカッション ○「日本と保育」をテーマにしたディスカッション ○保育士に求められる職業倫理の再確認 ○保育の場で活用・応用が可能な知識・技術についての考察 						

科目名	保育実践演習Ⅱ	単 位	1 単位	配当 年次	4 年次	授業 形態	演習
教科書	特に定めず、必要に応じて参考文献等を紹介すると共に、参考資料を提示・配布する。						
持参物	保育実習時の実習記録および筆記用具						
備 考	保育実践演習Ⅰ同様に、この授業も保育士課程での学びの総決算として位置づけられ、保育実習を含め、これまでの保育士養成課程全体の学びや気づきを振り返ると共に、それらを援用しながら、今後の職業生活をはじめ多様な生活局面に生じる諸問題に対処できる実践力を養うよう努めたい。						
授業内容	<p>授業内容の中核として、以下の各項目を含みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現代の保育観の概要とその源流についての確認 ○保育の本質に関する考察—介護との比較・対照の視点から ○保育の本質に関する考察—教育との比較・対照の視点から ○家庭との連携・協働の実際についての検討 ○地域住民との連携・協働の実際についての検討 ○児童福祉関連諸施設との連携・協働の実際についての検討 ○保育関連時事問題の考察—〈待機児童問題〉 ○保育関連時事問題の考察—〈保育無償化〉 ○保育関連時事問題の考察—〈保育事故の防止・予防〉 ○保育関連時事問題の考察—〈保育士配置基準〉 ○保育関連時事問題の考察—〈家庭養護としての里親〉 ○病児・障がい児保育の現状と課題についての確認 ○子どもと保育者の個性を尊重した保育についての検討 ○保育士養成課程での学びや気づきの他領域への応用の可能性の検討 ○保育士課程に学ぶ後進に向けた「保育実習マニュアル」の作成 						

科目名	子ども文化演習	単 位	面接1単位	配当 年次	4年次	授業 形態	演習
教科書	なし						
持参物	筆記用具 はさみ カッターナイフ						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども文化の歴史や定義ならびに子どもの遊び、子どもの発達などについての理解を促す。 ・子どもの遊びについての知識と理解を促すとともに、多様な演習を通して保育や授業に生かせる実践的で創造的な技能を育成する。 						
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション ○子ども文化とは？ <ul style="list-style-type: none"> ・文化を考える ○子どもとは？ <ul style="list-style-type: none"> ・子どもをアートの視点でとらえ直す ○子ども文化の歴史 ○「遊び」とは何か？ ○お絵描き遊びをしよう <ul style="list-style-type: none"> ・身近な描画材料を使って ○紙で遊ぼう <ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙で遊ぶ、紙飛行機作り、紙鉄砲作り等 ○昔の玩具で遊ぼう <ul style="list-style-type: none"> ・けん玉、コマ回し ○水を使って遊ぼう <ul style="list-style-type: none"> ・シャボン玉作り、色水作り等 ○外で遊ぼう <ul style="list-style-type: none"> ・かげふみ、かげおくり、影絵 ・石けり遊び ・だるまさんがころんだ、缶けり、かくれんぼ、探偵ごっこ等 かくれんぼ、等 ・ボール遊びとスポーツ 他 ○作って遊ぼう <ul style="list-style-type: none"> ・手作りおもちゃ ○伝承遊びに取り組もう <ul style="list-style-type: none"> ・子どもから子どもへ伝わる遊び ○授業のまとめと振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・『まとめレポート』作成 						